

特別展

陶芸の魅力×

アーティストのドキドキ
The Magic of Ceramics ~ Artistic Inspiration



2013.9.7 [sat] ~ 11.24 [sun]

[開館時間] 10月31日まで10:00~19:00、11月1日から10:00~18:00(入館はいつでも閉館時間の30分前まで)

[休館日] 月曜日(ただし、9月16日(月・祝)、9月23日(月・祝)、10月14日(月・祝)、11月4日(月・祝)は開館、9月17日(火)、9月24日(火)、10月15日(火)、11月5日(火)は休館)

[観覧料] 一般 1000円(800円)、大学生 800円(600円)、高校生 500円(400円)、中学生以下無料

()内は、前売りおよび20名以上の団体割引料金です。

- ・17:00以降に観覧される場合には、夜間割引料金になります。(一般 500円、大学生 400円、高校生 250円)
- ・65歳以上の方は半額になります。・障害のある方及びその介護者1名は半額になります。
- ・前売券はローソンチケット・ミニストップ(Lコード 56476)、セブンイレブン(セブンコード 024-735)で販売しています。

- 主催 / 兵庫陶芸美術館 朝日新聞社 ■企画協力 / 滋賀県立陶芸の森
- 協力 / 大塚オーミ陶業株式会社、丹波立杭陶磁器協同組合
- 後援 / 兵庫県、兵庫県教育委員会、篠山市、篠山市教育委員会、丹波市、丹波市教育委員会、公益財団法人兵庫県芸術文化協会

土と語る、森の中の美術館

兵庫陶芸美術館

The Museum of Ceramic Art, Hyogo



〒669-2135 篠山市今田町上立杭4 TEL079-597-3961
<http://www.mcart.jp>



横尾忠則「1960s」1985年
大家オーミ陶業株式会社



キム・シーモンソン
「エイリアンのタトゥー」
2003年
滋賀県立陶芸の森



金子潤「Untitled」
2004年
兵庫陶芸美術館



日比野克彦「取手付オブジェ」
1999-2000年 個人蔵



岡本太郎
「坐ることを拒否する椅子(赤色)」
1990年頃
甲賀市信楽伝統産業会館



奈良美智「おたふく1号」2010年
©Yoshitomo Nara.
Photo:Keizo Kioku



小出ナオキ
「cloud (theater)」2011年
©Naoki Koide, Courtesy of
Tomio Koyama Gallery,
Photo : Kei Okano

史の中で活躍したのは陶芸家だけ
陶芸の歴史

ではなく、土の魅力に魅せられた画家や彫刻家
たちも陶芸に挑戦してきました。例えば、20世紀を代表す
る画家であるパブロ・ピカソ(1881-1973)やジョアン・

ミロ(1893-1983)らによる陶芸作品は、戦後の陶芸に刺激を
与え、1950年代に世界各地で開花する造形的な新しい陶芸への後押し
になったといわれています。彼らのアプローチは、それまでの伝統や技法にとら
われていた陶芸の発想を越えて、新しい陶芸の可能性を気付かせました。思いど
おりに変化する可塑性を持ち、自然との交感を感じさせる粘土は、さまざまな芸術
家たちを魅了し、アートとの距離を近づけ、陶芸のもつ領域は広がりをみせました。

そして今、陶芸を専門としない画家やFRPなどの合成樹脂を素材とする彫刻家ら
といったアーティストたちが、粘土という素材を選び、素材や技術の制約を受けなが
らも、あえて陶芸に挑戦しています。はたして何が彼らを陶芸に駆り立てるのでしょ
うか。本展では、画家や彫刻家らが陶芸に挑戦した作品のほか、日本やアメリカ、ヨー
ロッパなどの現代の陶芸シーンから、アートと陶芸のはざまで作成する陶芸家たちの作
品をご紹介します。

- 芸術家たちの挑戦 ジョアン・ミロ/パブロ・ピカソ/岡本太郎/井田照一/横尾忠則/元
永定正/舟越桂/福岡道雄/北辻良央/小清水漸/木田安彦/井田彪/日比野克彦/イ
ケムラレイコ/奈良美智/小出ナオキ/高橋治希/きむらとしろうじんじん(順不同)
- アートと陶芸のはざまで ヒーター・ヴォーコス/ロバート・アーネン/ジョ
ン・メイソン/ケネス・ブライス/ロン・ネイグル/マリリン・レヴィン/リチ
ャード・ショー/金子潤/エイドリアン・サックス/カルロ・ザウリ/ギ
リアン・ローンテス/グレイソン・ペリー/ダニエル・ポントロー
キム・シーモンソン/クリスティーナ・リスカ/エンリケ・
メストレ/八木一夫/鯉江良二/西山陽平/三
島喜美代/秋山陽(順不同)



リチャード・ショー
「Shigaraki, 2001」
2001年
滋賀県立陶芸の森

【関連ワークショップ】

“きむらとしろうじんじんの野点”^{の だて}

赤いドレスに身を包み、窯をのせたリアカーをひいて、まちなかを闊歩する美術家“きむらとしろうじんじん”がやきものの里、丹波立杭にやっ
てきます。

本展出品作家である“きむらとしろうじんじんの野点”では、お客様自身
でお茶碗への絵付けと楽焼きを体験していただき、じんじんとのお話とと
もに焼き上がったお茶碗でお茶をいただく野点を楽しむことができます。

日時：2013年11月24日(日)

会場：兵庫陶芸美術館を含む立杭地区周辺

参加費：有料 ※詳しくはお問い合わせ下さい。

【当館学芸員によるギャラリートーク】

9月7日(土)、10月26日(土)、11月16日(土)、
いずれも午前11時より(観覧券が必要です)



第36回陶器まつり 10月19日(土)、20日(日)

※「陶器まつり」の間中は割引料金で展覧会を観覧いただけます。

クールスポット実施 ~9月27日(金)

※夏の電力消費量の削減を図るため、クールスポットを実施しています。
実施期間中に特別展をご観覧いただいた方(無料入場者は除く)全員に、
特別展「新収蔵品展」(12/7~2/16)の招待券をプレゼントします。

【同時開催テーマ展】

神戸ビエンナーレ2013 現代陶芸コンペティション入賞・入選作品展
~9月8日(日)

Flowers-田嶋悦子展 9月21日(土)~2014年2月19日(水)

【次回展予告】

新収蔵品展 12月7日(土)~2014年2月16日(日)